

事業番号	15 04 01	事業改善シート（令和元年度実施事業分）	当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	特別支援教育推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課	
		実施期間	S54～	E-mail	tokubetsu-shien@pref.nagano.lg.jp	
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)						
8つの重点目標						
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進			5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり		
	1-2 地域とともに取り組む楽しい学校づくり					



1 事業の概要

事業の現状・目指す姿 (予算編成時)	【現 状】 障がいの重度化、重複化が進むとともに、発達障がいのある児童生徒が増加しており、インクルーシブ教育システムの構築と、教職員等の専門性の向上や、連携支援体制の整備が課題となっている。
	【目指す姿】 ・多様な教育的ニーズのある児童生徒1人1人に対して、小・中・高校、特別支援学校において適切な教育・支援が提供されている。 ・教職員の専門性が向上し、インクルーシブな教育が実践されている。 ・学校・保護者・市町村教育委員会・地域の関係者等が連携・協働して児童生徒の現在及び将来の自立を支援している。 【実施内容】 LD等通級指導教室の増設、外部専門家派遣、副学籍コーディネーター及び就労コーディネーターの配置 など

指標及びその達成状況 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし]						事業 コスト	区分(単位:千円)		
№	成果指標	H29年度	H30年度	R1年度	目標値		達成状況	H30年度	R1年度
1	LD等通級指導教室の増設	39	50 ↑	61 ↑	61	達成	前年度繰越	0	0
							現計予算	1,166,726	1,556,520
							合計(A)	1,166,726	1,556,520
							うち一般財源	804,779	1,114,040
							決算額(B)	1,140,602	1,485,834
							職員数(人)	7.11	7.11

成果指標 設定理由	1～3 インクルーシブ教育システム（共生社会）の構築を推進 4 第3次長野県教育振興基本計画及び第2次長野県特別支援教育推進計画の成果指標
--------------	--

達成状況 の分析	1 LD等通級指導教室を11室増設し、個々の障がいの状態に応じた学習を受けられる児童生徒が増加した。 2 自立活動担当教員の25名増員により、各校に専門性の高い教員が担任をサポートするチームの編成ができた。 3 受講予定者の養成研修の突然の欠席により、目標値にはわずかに届かなかった。 4 就労コーディネーター等による実習先の開拓や技能検定の拡充により、就労率の向上に結びついた。
-------------	---

主な取組	<p>✓ 一人ひとりの子どもの可能性を最大限伸ばす特別支援学校の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 各校に学級担任をサポートする専門性サポートチームを編成 一流の芸術家等の外部専門家を活用した授業実施 	 <p>太鼓奏者による特別授業</p>
	<p>✓ インクルーシブな社会の実現</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童生徒の多様な学びに対応するLD等通級指導教室を増設（11教室） 小中学校との交流を支援する副学籍コーディネーターの配置（2名） 生徒の働く意欲とスキルの向上を図る特別支援学校技能検定の実施（清掃部門の継続、喫茶部門の拡充、食品加工部門の新設） 	 <p>技能検定喫茶部門</p>

2 今後の事業の方向性

	課 題 等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> 発達障がい等があり特別な支援が必要な児童生徒の増加に伴い、地域における支援体制の更なる充実が求められている。 就職希望者の就職決定率は上がったが、企業で実習を行った生徒が就職した割合は減少した。 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育コーディネーターの養成研修、自立活動担当教員の配置等の事業を引き続き推進し、教員の発達障がいに対する理解と支援力を高めていく。 技能検定の部門を拡充するとともに、進路指導主事と就労コーディネーターが連携して生徒の希望に応えられるような実習先の更なる開拓を進め、指導の改善を図る。 企業での実習を希望する生徒に、必要な力をつけ企業実習を行う生徒数の増加を図る。

事業名	特別支援教育推進事業費	部局	教育委員会事務局	課・室	特別支援教育課
-----	-------------	----	----------	-----	---------

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
1	給与費等		24,987 千円	118,034 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	障がい者チャレンジ雇用事業	直接	県立学校等において、肢体不自由障がい者、視覚障がい者、聴覚障がい者、知的障がい者を雇用	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
2	特別支援教育推進指導事業費		1,024,262 千円	1,273,924 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	発達障がい児等総合支援事業	直接	地域の中核となるコーディネーターの養成、出前研修の実施、LD等通級指導教室担当者専門性向上研修事業、「低学年での読み指導プログラム」推進事業	
2	特別支援学校センター的機能充実事業	直接	自立活動担当教員による地域の小中学校の特別支援学級への巡回相談支援、外部専門家（OT, PT, ST）や芸術家、スポーツ選手等を特別支援学校に派遣	
3	特別支援教育充実事業	直接	自立活動担当教員の増員（+25人）、LD等通級指導教室担当教員の増員（+11人）、副学籍コーディネーターの配置（+2人）、自立介護支援員（20人）、長野県特別支援教育連携協議会の開催（3回）、特別支援学校の専門性向上事業の実施、「学びの改革」フロンティアスピリッツ事業の実施	
4	手話学習環境整備事業	直接	手話に係る研修会、小中高等学校教員向け指導方法の伝達講習会の開催	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
3	就学指導事業費		32,214 千円	30,181 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	就学相談体制整備事業	直接	特別支援教育推進員の配置（4人）、長野県教育支援委員会の開催（2回）、学習指導要領手引書の作成	
2	特別支援教育地域化推進事業	直接	乳幼児「きこえの教室」運営（テレビ会議システムオンライン接続）	
3	交流教育推進事業	直接	交流教育提携校との交流、提携校以外の相手先との交流等	
4	特別支援学校就労支援総合事業費	直接	技能検定の実施校拡大、就労コーディネーターの配置（5人）、産業現場等における実習	

細事業 No.	細事業名		H30年度 決算	R1年度 決算
4	就学奨励事業費		59,139 千円	63,695 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和元年度 実施内容(実績)	
1	医療的ケア体制整備事業費	直接	学校看護師の配置（33人）、医療的ケア研修、医療的ケア運営協議会の開催、医療的ケア指導医派遣研修	